

議会だより

令和4年8月20日発行 / No.150



the most beautiful
villages in japan

原村
長野県



「たまごの中からパフェがでてきた」 原小学校2年 小池 夏希さん

2022年
6月定例会
から

原村の公共交通を考える 2

一般会計補正予算 4

緊急経済対策 8

一般質問 10



原村議会の情報は
ホームページからも
ご覧いただけます



「マチイロ」
アプリからも
ご覧いただけます

交通を考える。

ハヶ岳の裾野から中央自動車道まで広がる原村。広大な農地や森林地帯も多く、村内や村外への移動に自家用車は欠かせません。しかし高齢化が進む現在、自家用車以外の交通手段の整備は重要な課題です。また学生など若年層にとって利用しやすいしくみを検討する必要があります。

当初予算500万円（タクシー2台借上げ）に2号補正400万（システム構築、調査分析、端末レンタル）を加え、村では10月からオンデマンド公共交通の実証実験を開始します。

今回、自身では車を運転されず、公共交通を利用されている4名の方を取材し、公共交通の利用状況や今後についてお話を伺いましたので紹介します。



穴山線、セロリン号、徒歩を組み合わせて、仕事や介護施設に行っています。停留所は近くにあるので使いやすいです。ダイヤは以前の方が便利でしたが、改正後も工夫して利用しています。休憩所のあるスーパーで買い物をするようにして、待ち時間は友人とお茶をして楽しんでいます。介護施設の往復は、往きは良いですが、帰りが困ります。

小池 和子さん（柳沢）

現在の公共交通は諏訪中央病院やもみの湯へ行く時に使います。もみの湯へは行き帰り2本あり、今の本数で満足ですが、中央病院経由は帰りの便がもう1本があればいいですね。

村内の他方面への乗り継ぎも良く、運転手さんとも顔見知りになりました。家の前がバス路線のフリー乗降区間なので手上げで乗り降りできるのがありがたいです。

匿名希望（大久保）

山梨の病院に通院のためにすずらの里駅まで利用、帰りは富士見駅からバスを利用するか、青柳駅から役場まで徒歩で移動します。役場周辺に出かけるのは週一回程度ですが、往きは徒歩、帰りはバス利用になります。

ペンションから役場までは運行数が多いので便利ですが、各駅までのアクセスが不便なので充実させて欲しいです。

早川 繁さん（ペンション）

富士見高原病院への通院や役場周辺へ出かける際に利用。セロリン号で足りない部分は、いぬの足サービスを利用しますが、大体徒歩で移動します。運行時間に合わせ通院を予約し、ついでに買い物など用事を済ませるようにしています。

自宅への帰りが登り坂になるので、バス停を工夫して帰りも坂を下って移動できるようにしています。

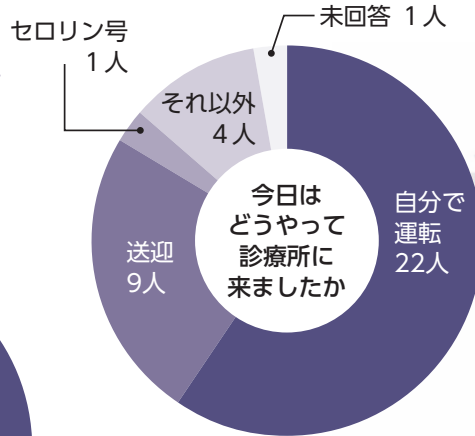
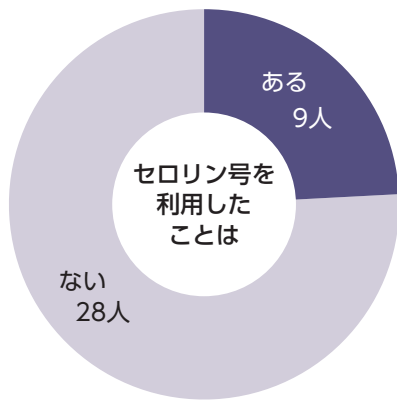
斎藤 美彌子さん（中新田）

特集

原村の公共

原村診療所へ来られた方にアンケートで聞きました

(田舎暮らし推進係による調査)



ギカイのシテン

取材を通じて、多少の不便は感じながらも、皆さんが工夫をしながら上手に公共交通にあわせ生活をされていたことが分かった。驚いたのは、皆さん本当によく歩くこと。

取材時に出た「免許証を返納すれば、今までのような生活は出来なくなる。気持ちを切り替えてそれなりの生活を送っています。」という言葉が印象的だった。

今回取材できなかった子どもたちや歩くのが困難な方には、また別な状況がある。今後、様々な環境にあわせた公共交通の検討が必要になるだろう。空席が目立つ便も多い。より多くの利用を図るため利用者以外のアンケート調査を行い課題の洗い出しを望む。

議会は住民の皆さんとともに、村での暮らしが豊かになるよう研究し、議論していく。

公共交通は気を使わない

困った時や緊急時には皆さんお願いできる家族・友達・仲間がいた。しかし、「お礼しなくては」、「迷惑かけていないだろうか」と気を遣うようだ。公共交通は気を使わず利用できるのが気持ち的に楽で良い手段。

デマンド便導入で

公共交通に求められているのはスーパー、病院、駅など主要施設へのアクセスの良さ。デマンド便でアクセス向上が見込めそうだが、電車の発着やスケジュール管理を考えると目的地に時間通りに着くか心配。主要路線や通勤・通学便を残して欲しいという要望があった。通勤・通学便においては、最近、子どもの利用が多く乗れない時があり、解決を望む声もある。また、原山地区や村の南エリアは生活圏域が富士見町方面であり、今後、富士見町との共同運営も考えて欲しいとの声も出た。

現状くらいの料金で

現状の料金に不満を持つ方はなかった。今後デマンド便導入においては、現状くらいが望ましいとしながらも、利便性が良ければ多少高くなるのも仕方ないとの意見もあった。また、料金体系は一律にするなど分かりやすくすることや、使いやすい回数券を求める声もあった。

私たちの暮らしに

地方創生 臨時交付金

どつ生かす？

安心・便利な行政窓口

定例会概要

村長提出13件、委員会・議員提出6件が提出され、陳情5件を審議した。第1号・2号では、新型コロナウイルス感染症対策支援事業と公共交通推進事業。第3号では、緊急経済対策原油価格と物価高騰に対応した事業などを可決した。

国保会計では、レセプト点検と病類統計データ作成を担当していた会計年度任用職員の退職により、職員では対応できないレセプト点検を国保連合会へ委託する。また、病類統計は、国保連合会では作成していないことから、データが無いことによる病気の予防や対策にどのように影響がでてくるか注視していく。

今後、専門性のある業務を、誰が行うのか検討が必要になってくる。

一般会計補正予算

地方創生臨時交付金として新型コロナウイルス感染症対策支援事業に8,606万円（第1号）、物価高騰・緊急経済対策事業に5,277万円（第3号）など、10,515万円（第1号）、1,847万円（第2号）、9,276万円（第3号）の補正を行った。

窓口電子申請用タブレット配置事業 88万円

タブレット購入 8台

住民と接触機会の多い窓口業務において、非接触のタブレットを導入し、住民が電子申請を手軽に行えるよう、普及促進を図る。

らくらく窓口証明書交付サービス導入 143万円

タッチパネル設置 2台

マイナンバーカードを活用した証明書交付。

Q 導入の効果は。

A ひとり当たり5分程度の時間が短縮できる。



写真は岡谷市役所

村内施設を支え、住民に生かす

第4弾 がんばろう原村 応援商品券事業 —— 2,615万円

影響を受けている事業者を、住民一丸となって応援する。村内に住所がある者を対象に、3,000円分（500円×6枚）の商品券を送付して、消費行動で支援する。

村民限定観光施設無料券配布事業 —— 455万円

村内観光施設無料券を配布することで事業者に間接支援を行う。八ヶ岳自然文化園、八ヶ岳美術館（八ヶ岳民族資料館）、もみの湯の各施設が、それぞれ1回無料利用できる。



より安心な学びの場へ

—学校教育感染防止対策支援—

小・中学校オンラインスクール用 機器整備事業 —— 387万円

児童生徒の自宅をオンラインで繋ぎながら教師や地元の講師による学習支援を行うための機器（一眼レフカメラ、ノートパソコン、動画編集ソフトなど）を整備する。



こひつじ幼稚園 —— 164万円

テーブル、椅子、収納棚を抗ウイルス仕様にし、園児・職員の感染防止対策支援を行う。

八ヶ岳中央農業実践大学校 —— 100万円

アルコール、パーテーション等の購入を想定し、学生・職員の感染防止対策支援を行う。

Q なぜ幼稚園、大学校へ補助するのか。

A 村内の教育施設における感染拡大防止対策は重要であるため。

区および自治会が活動を安心かつ継続的に実施するため、令和3年度に整備しきれなかった必要な消耗品、備品の購入及び軽微な改修並びに防災活動を後押しする。世帯数×1,500円+15万円の合計を上限に、必要な経費の一部を補助する。

第1弾 活用事例

南原公民館

抗菌タイルカーペット張り替え実施



〈その他の活用実績〉

公民館自動水栓設置・非接触体温計・AIカメラ・ノートパソコン・Wi-Fiルーターの購入等

区や自治会も安全に

第2弾 区及び自治会新型コロナウイルス感染症対策

687万円

賛否が分かれた議案等

○は賛成、×は反対、△は趣旨採択又は一部採択に賛成、 ▽は退席、－は欠席、議長は可否同数時のみ裁決する。		結果	半田裕	中村浩平	宮坂早苗	佐宗利江	森山岩光	松下浩史	平出敏廣	北原貴穂	宮坂紀博	百瀬嘉徳	
＜村長提出＞													
承認第6号	専決処分の承認(令和4年度原村一般会計補正予算(第1号))	承認	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第19号	原村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第23号	令和3年度 子ども子育て支援センター建設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
＜議員提出＞													
発委第4号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書案の提出 提出者 原村議会 社会文教常任委員長 宮坂 紀博	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
発委第6号	児童福祉施設認可申請の手続きが円滑に進められることを求める決議案の提出 提出者 原村議会 社会文教常任委員長 宮坂 紀博	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
発議第4号	少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書案の提出 提出者 原村議会議員 平出 敏廣	議長裁決 可決	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	
発議第5号	児童福祉施設に関する決議案の提出 提出者 原村議会議員 宮坂 紀博	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	
＜陳情＞													
陳情第3号	「ハヶ岳風の子保育園」の早期認可を求める陳情書 提出者 ハヶ岳風の子保育園 園長 橋田 美千代	採択	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
陳情第5号	さらなる少人数学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書 提出者 長野県教職員組合諏訪支部 代表者 平出 正章	議長裁決 採択	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	
陳情第6号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情書 提出者 長野県教職員組合諏訪支部 代表者 平出 正章	採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情 第7号	諏訪湖生態系回復を強力に推進することを求める陳情 提出者 諏訪湖漁業協同組合 代表理事組合長 武居 薫	一部採択	(動議) 所管委員会報告では「全会一致で採択すべき」であったが、動議が可決され、2項、3項についての「一部採択」とした。										
	動議 「対策を講じる」については、二重行政になるのではという疑念がある。 2項3項については賛同できるため、一部採択とすべきである。 提出者 原村議会議員 松下 浩史	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○
	動議が可決されたため、以下陳情項目1件ずつ採決を行った。												
	1 諏訪湖などの魚介類の生態を踏まえた漁獲量激減対策と流入河川の更なる環境改善を、諏訪圏域6市町村の共通課題と認識して、早急に調査研究し対策を講ずること。	不採択	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	
	2 上記を諏訪広域連合で規定する「広域的課題の調査研究に関する事務」として取り上げ、調査研究事務を推進すること。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3 その結果を踏まえ、諏訪広域連合および諏訪湖浄化対策連絡協議会から長野県・国に提言・要望をすること。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

三二解説

動議とは？ …… 会議の議事の進行の過程において、議会の意思決定を求めて議員から提案される議案以外のものです。具体的には、休憩、質疑や討論の終結など、会議の途中に口頭で行われる議事の進行や審議手続に関するものがほとんどです。動議は、所定の賛成者があれば成立し、議題となり議決されます。

一部採択とは？ … 願意が妥当であり、一部について実現性がある場合に一部採択とすることができます。

「八ヶ岳風の子保育園」の早期認可を求める陳情書

当村では実施していない、生後10か月未満の子どもの乳児保育園の開設を目指し、2021年7月から村との話し合いを行っている。当初「10か月未満児の保育制度は村の課題」、「官民連携でやるのが新しいやり方」等の発言があり、この意向を受けて、お母さんたちの要望に応えられる乳児保育園の認可手続きと開園の準備を進めてきた。認可申請のための手続きに時間を要したが、保育体制を整え4月1日に無認可で開園。村が提唱する「笑顔あふれる原村の子どもたちへ」を乳児保育の分野で実現するため、早期認可を求めるもの。

議会では、今回の申請者が、村の申請書不備による申請手続きに苦慮された事から、今後の新たな申請手続きが円滑に進むよう、「児童福祉施設認可申請の手続きが円滑に進められることを求める決議」を可決した。

賛成討論
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズの有無は「八ヶ岳風の子保育園」が開園をしてお子さんを預かっている現状がある。 ・ 村の保育園は1、2歳児について年度初めから定員になり、中途の入園はできない状況にある。 ・ 一日でも早く認可し公費助成を行うべき、利用者の安心につながり、事業継続につながる。 ・ 格差無き公的保育を保証するためにも認可は必要。

反対討論
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱意は感じるが住民意思要望があるのか。 ・ 村内住民意思形成がないのでは。

審議より
<p>問 4月に開園してから、見えてきた課題は。</p> <p>答 公的補助がないため、保育希望はあるが保育費用1人3万5千円/月で、2人では7万円になり、農家やパートの方に負担をして貰うのは難しい。認可書類に必要な村の施設との連携</p> <p>問 教育委員会との施設連携協定を6月3日付で締結した。</p>

さらなる少人数教育推進と、教育予算の増額を求める陳情書

2021年度からの5年計画で全ての小学校で35人学級が実現する。しかし、中学校は40人学級のままである。「新しい生活様式」における身体的距離の十分な確保のためにも、少人数学級のさらなる推進は必要。

どの子にもゆきとどいた教育の実現と職員の働き方改革の実現のためにも、抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数の改善と教育予算の増額、複式学級の学級定員を引き下げることを求めるもの。

賛否同数で議長裁決となり、議長は採択とした。「少人数教育推進と、教育予算の増額を求める意見書」を国に提出した。

賛成討論
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県は先進的な取り組みを行っている。30人学級上限35人としている。 ・ 小学校は35人学級が実現することになったが中学校は40人のままである。 ・ 長野県は県費で行っているため国庫負担になれば県、自治体の負担も少なくなる。 ・ 文科省も30人規模学級を目標としている。

反対討論
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級数を増やすことで教員の負担軽減にはならないのでは。 ・ 行き届いた教育の面では担任、副担任体制で子どもに目が届く様になり、教員の負担軽減になる。 ・ 小学校での35人学級の成果を確認してからでも良いのでは。 ・ 教職員の意見だけでなく、生徒、父兄の意識調査も必要。

審議より
<p>問 小学校の担任は一名だが、複数担任制などの検討をしているか。</p> <p>答 低学年では、多くの学校で支援員の先生が入っている。月ごとに担任が代わる学年担任制を行っている学校もあり、それぞれの学校が試行錯誤で研究を行っている。</p> <p>問 長野県が実施している30人規模学級の上限は。</p> <p>答 現状35人であり、上限30人を目指したい。</p>

原村農業者緊急支援給付金支給事業

..... 2,800 万円

村の経済を支える

緊急経済対策

物価や原油の高騰を受け、ビニールハウスの暖房費や農機の燃料代、肥料や農薬など農業資材の高騰が続いている。農産物の価格は変わらない一方で経費が膨らみ続けるといふ、農家にとって大変に厳しい状況に陥っている。

対象者は個人においては令和3年分の農業所得を申告している者、法人は直近期の決算を作成し、法人住民税を申告している者。給付額は対象経費（種苗費・素畜費・肥料費・飼料費・農業衛生費・諸材料費および動力光熱費）の2パーセント（上限50万円）。

本村の基幹産業でもある農業において、事業者の負担の軽減を図る。

Q 2%の根拠は。

A 物価高騰率の2・1%に対応したものの。

Q 対象戸数は。

A 農家戸数410戸。概ね400戸を見込んでいる。



長年セロリの生産をしています。近年は異常気象がしばしばあり、今後は作物の出来がさらに心配です。村全体の生産量は落ちていませんが農家の数は減っています。人材確保も課題のひとつで、現在は外国人の研修生で何とかやりくりしていますが、これから日本人労働力の確保はどんどん難しくなっていく気がします。

篠原 昭さん
(中新田)



第5弾 事業継続特別給付金事業

……………2,500万円

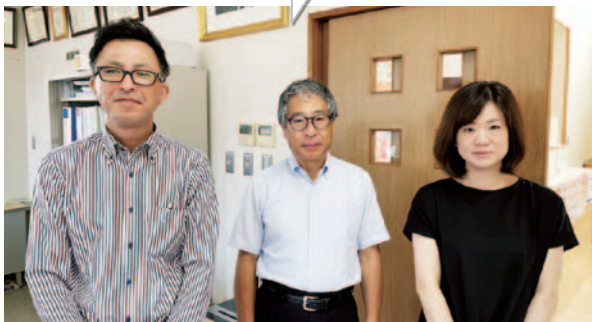
長期化している新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰により影響を受けている事業者負担の軽減を図る。個人は村内に住所を有する個人事業者、法人は村内に本店または主たる事務所がある事業者。給付額は対象経費（租税公課・減価償却費・給料賃金を除いた額）の2パーセント（上限10万円）。

商工会部会員の声

- ・製造業・建設業の現場では、資材・燃料の高騰があるが、価格に転嫁できないため、収益性が悪化している。
- ・コロナとロシアのウクライナ侵攻の影響で、半導体・部品の調達が難しく、国内で部品製造等を行う予定であるが、時間を要する。
- ・今後、脱炭素化に向けた新しい事業の構築も視野に入れ、経営を考えて行く時期にきている。

材料等の高騰により、融資相談案件が倍増しています。収益悪化の状況下、補助金の活用で危機を脱したいという事業者も多いです。村と連携した取り組みや事業のPRを行い、地域全体のために貢献していきたいです。

後継者不足への対応も喫緊の課題だと思われます。



商工会職員のみなさん

ギカイのシテン

コロナ禍の議会運営について、議会を開く時間的な余裕が無いことによる長の専決処分が多くなっている。専決処分は、特に緊急を要し、議会召集をする時間的余裕がない事が明らかであると認めるときに行使できるものである。その後議会で承認を得ることとなっているが、不承認でも効力は変わらない。当村議会では、専決処分を行う必要がある場合は、事前に全員協議会で説明を行うこととしているが、コロナ禍の議会運営の方法についての検証が必要な時期にきている。令和元年に世界中で発生した新型コロナウイルス感染症の拡大、「新しい生活様式」が日常となるなか、農業における緊急経済対策では、荷造り運賃手数料の段階的削減等の経費が対象になっていないこと、猛暑の中、教育現場への冷房設備未設置など、専決で議論が十分行われないことによる住民生活への影響は懸念される。議会は、住民の声を反映させ、住民の豊かな暮らしの実現に向け、議会の権限を行使していく。

学校給食費補助事業

(小中学校) …… 263万円

原油価格・物価高騰により、給食食材費が増加すると予測される。食材費の高騰分を1食当たり20円補助することで、保護者の負担軽減を図る。



Q 保育園への補助は？

A 保育園は、給食費ではなく副食費。一定以上の収入のある方からいただいているため、物価高騰の影響は小さいと考える。

三二解説

2019年10月から、保育料の無償化に伴い、国の示す保育事業運営基準により、保育行政が行われている。副食費については、当村独自に、第4階層の利用者まで副食費の免除を行い、第5階層からは、月額4,500円の副食費を徴収している。

6月 定例会

一 般 質 問

一般質問とは、議員が村政全般にわたり、執行機関である村に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて疑問点をただし、報告、説明を求めることです。
6月定例会では10人の議員が登壇し、村政課題への提言や質問を行いました。ここではその主な内容（質問と回答の要旨）を掲載します。

<p>中村 浩平 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 五味村長の教育行政等への介入問題 2. 村保育園の大改革を 	<p>松下 浩史 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本で最も美しい村」連合の5年目再審査の結果をどう生かすか 2. 土日祝日の公共交通 3. コロナ禍での生涯学習・スポーツ
<p>北原 貴穂 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国費による給付金の迅速な支給に向けて 2. 八ヶ岳中央農業実践大学校 3. 住民からの要望事項 	<p>宮坂 早苗 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業後継者育成事業補助金の交付対象の見直しを 2. 部活指導者の人材確保の取組みは 3. 平和教育の推進、現地派遣の必要があるのでは 4. 原村人づくり事業補助金交付要綱の見直しを
<p>平出 敏廣 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校でのゲノム編集トマト苗配布 2. ゲノム編集及び遺伝伝子組み換え食品の安全性をどう考えるか 3. 八ヶ岳中央農業実践大学校と民間企業の連携 4. 新たな高齢運転者対策での公共交通の在り方は 5. コロナワクチン接種4回目は 	<p>百瀬 嘉徳 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス接種 2. 道路網の整備
<p>森山 岩光 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高原野菜の産地維持プラン 2. 村の衛生管理 	<p>佐宗 利江 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中学生の進路状況について 2. 図書館2階の今後の利用 3. 環境保護 4. もみの湯改装
<p>半田 裕 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水田活用の直接支払い交付金の見直しを見越した農業支援の検討を 2. 自治体DXの推進状況は 	<p>一般質問は事前に質問内容を通告することになっています。 ・質問時間は1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。 一問一答方式が採用されており、1項目につき2回まで再質問ができます。 一般質問全文の閲覧および検索は村ホームページから行えます。</p>
<p>宮坂 紀博 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども子育て支援センター 2. 子育て 3. 住環境整備 	

保育

問 村保育園の大改革を

答 園児・保護者に向き合う

問 保育士による虐待があった旨の手紙を受け取っている。幼少期への誤った指導は生涯に渡ってトラウマになつてしまう事さへある。事実関係を調査し、結果を公表すべき。

問 園児を預かるのは本当に大変な仕事である。このため保育課長を創設し、園長は課長職とすべきである。

問 児童を預かるのは本当に大変な仕事である。このため保育課長を創設し、園長は課長職とすべきである。

教育長 計画するが現時点では優先順位は下。

教育長 財政状況等から慎重に検討する。

教育長 事実関係が不明であり、私が把握している限り事案は発生していない。小中学校でも当然起こり得ると認識しているので、日々の業務の中で相談を受けて聞き取りしたい。

問 園の駐車場が砂利

教育



中村 浩平 議員

問 村長の教育行政等への介入

答 今後も協議・調整を行う

問 原村女性団体連絡協議会（事務局は教育委員会）等による講演会の講師が、前長野県副知事の中島恵理氏で決まっていた。ところが、村長の教育委員会職員への指示によって変更せざるを得なくなった。なぜ変えるよう指示したのか、一体誰に対しての忖度なのか。

村長 これは非常に個人の名誉に関わる事なので、答弁は控えさせていただきます。

交通安全

問 注意喚起や看板設置を

答 看板や標示で改善できる

問 道路の改良、補修の後、交通量の増加や県外車の流入が見られるとの住民からの指摘があった。生活道路では地元住民や通学路として利用する児童生徒、また歩行者の安全が最優先だ。注意喚起や看板の設置等の対策が必要では。

問 道路の改良、補修の後、交通量の増加や県外車の流入が見られるとの住民からの指摘があった。生活道路では地元住民や通学路として利用する児童生徒、また歩行者の安全が最優先だ。注意喚起や看板の設置等の対策が必要では。

とも協議しながら、学校を通じて児童生徒や保護者に状況を周知し、歩行の際は十分注意するように呼びかけていきたい。

有線放送



北原 貴穂 議員

問 未加入世帯へ加入促進を

答 積極的に努めていきたい

問 有線放送未加入世帯が増え災害や緊急時の広報連絡体制を心配する声がある。未加入世帯への加入促進策は、

総務課長 昨年度転入者向けリーフレットを作成した。有線放送はスマートフォンや携帯電話がない世帯、深夜の避難勧告等にも有効。今年度から村のホームページから聞ける方法を検討している。広報はら、窓口対応等で引き続き未加入世帯への加入促進を積極的に努めていきたい。

食の安全

問 食品の安全性どう考える

答 国の見解踏まえ対応する

問 遺伝子が破壊されることにより、異常なタンパク質が生成され、食品となったときにアレルギーを起こす可能性があることや、ゲノム編集によりがんになりやすくなることなど最近になって明らかになりつつある。子どもたちを、安全性が確立していない新技術によりつくられた食品のモデルモットにしてはならないと強く感じる。これらの食品への安全性に対する考えは。

村長 国は、DNAの切断は自然界でも長期



平出 敏廣 議員

教育

問 ゲノム編集トマト苗考えは

答 安全性が明確ではない段階

い出すことは難しいとの見解を示している。人体に与える影響を証明する科学的根拠を示すことは困難。保健福祉事務所と連携し、県・国の見解を踏まえ対応していく予定。

問 ゲノム編集されたトマト苗を開発した企業が、希望する小学校や福祉施設に、無償で配布する計画を発表したところ、受け取らないとしている自治体があるが、原小学校は。

教育長 安全性を第一にしないといけない。特に食に関するものであり、食べたときに、子どもの健康に対して害があるのかないのか科学的見地、証拠などが明確にならないものは扱うべきではないだろうと私は考えている。

農 業

問 当村農業の将来像は

答 継承と農地集積・技術強化

問 村の農業の将来像、10年、20年先をどう思っているか。

村長 後継者のいない農家が年々増加することが考えられる中で、新規就農者の農業継承、技術の強化などが必要。特に後継者問題は喫緊に対応策を検討すべき。個人的には所有と経営の分離を検討すべき重要な項目と考える。

村長 後継者のいない農家が年々増加することが考えられる中で、新規就農者の農業継承、技術の強化などが必要。特に後継者問題は喫緊に対応策を検討すべき。個人的には所有と経営の分離を検討すべき重要な項目と考える。

村長 農家2、3軒が作物転換すると聞いた。危機感があり、このままでは立ちいかなくなる。セルリーを中心とした高原野菜の産地維持について、どう捉え今後につけて行くか。

環境



森山 岩光 議員

問 処理困難物回収の考えは

答 実施方策など検討したい

問 コロナ禍、巣籠りでの生活が3年目となりゴミも増加傾向との声を聞く。また不法投棄物は年間60トンに上がり処理費も年々かさねている状況を踏まえて、処理困難物の定期回収の考えはあるか。

建設水道課長 コロナ感染症の関係で実施できなかった。ゴミの問題でもあり定期的に実施して行くのがベターだと認識する、実施方法など含め検討する。

行政

問 自治体DX今後の取組は

答 電子申請を増やしていく

問 今後電子申請はどの進んで行くのか。

問 LINEの活用のためにリッチメニュー(下部に出る選択内容)や自動で質問に返信するチャットボットの導入も検討を。

育や環境整備は。

総務課長 大きく4つ
①庁内の無線化、オンライン・ペーパーレス
②電子決済システムの導入
③行政手続きのオンライン化
④村HPのリニューアル。特に電子申請は令和5年3月末までに100%電子化を目指す。

問 LINEの活用(下部に出る選択内容)や自動で質問に返信するチャットボットの導入も検討を。

総務課長 中央公民館での講座を予定。区公民館へのWiFi整備については補助金を案内している。

問 住民へのICT教育

問 今後の村公式LINEの活用方法は。

農業

問 ブロックローテーション実施への課題と対応は。

問 今後の村公式LINEの活用方法は。

農林課長 現状各農家の判断で作付が行われているため実施するとすれば地域の営農組合等の組織が必要。

総務課長 緊急情報以外の情報発信を今後検討していく。

問 集落営農組織の立ち上げのために村での支援が必要では。

農林課長 営農組合の必要性を関係農家の方に理解してもらうことが課題。相談があれば農林課で対応していく。



半田 裕 議員

問 水田活用見直しへの対応は

答 県と連携して実施

部活動

問 地域移行の対応は

答 人材と財源が課題だ

問 国のガイドラインが示されたが、対応は

で、ただやってみて、なんとなく経験してみたい生徒にとっては、部活離れを助長しないか。

教育長 自治体に合った体制づくり、支援の方法の検討を進める。

教育長 自治体に合った体制づくり、支援の方法の検討を進める。

問 顧問の先生が、やりたい事が出来ない、やりたくない事をやらなければならない事が、指導者不足の原因の1つだと考えるが。

教育長 教職員の働き方改革がベースにある

問 顧問の先生が、やりたい事が出来ない、やりたくない事をやらなければならない事が、指導者不足の原因の1つだと考えるが。

児童福祉

問 子ども子育て支援センターは、石綿含有建材や、建材高騰による影響はないか。

教育長 指導を希望する教職員は、兼業を認める。強化の人材は課題だ。

子ども課長 石綿は対応済み。建材の確保は業者に確認している。

問 強化を目指すこと

問 確認申請業務の確証の交付を受けているか。追加工事の予定はあるか。

子ども課長 擁壁、駐車場などの外構工事は、すべて含まれており、今のところ予定にない。



宮坂 紀博 議員

問 建設の進捗状況は

答 工期中に完成する

公共交通

問 土日祝日の運行は

答 現状の運行日で検討

問 セロリン号は平日のみで土日祝日の運行はない。今後、土日祝日の運行の考えは。

用して原村を訪れる観光客の二次交通が課題として挙げられている。どう考えているか。

村長 八ヶ岳観光圏で行っていた小淵沢→原のバスの赤字による廃

止や富士見駅着あずさの本数減など、公共交通での原村へのアクセスは厳しい現状。今後は、実証運行を含めた中で、どういう形が良いか考えなければいけない課題と思っている。

商工観光課長 平成25年の運行開始の際にも土日祝日の運行については検討されているが、生活する上で最低限必要な足の確保という方針で運行していくことになった経緯がある。今後も財政負担等を考えると、同様の方針で、現状の運行日で検討している。

公園整備



松下 浩史 議員

問 もっと気軽にスポーツを

答 健康促進に大事な視点

問 コロナの影響で屋内体育施設の利用が難しい。健康促進・スポーツ振興のため、気軽にスポーツを楽しむよう、公園等の屋外施設充実を図るべきでは。

教育長 公民館の改修や運動広場等の健康増進に関する補助金の説明を5月に開催した研修会で行い、積極的な活用をお願いした。各区においては、それぞれのニーズを把握しながら進めていきたいと考えている。

人材育成

問 部活指導者の人材確保は

答 来年度は確保している

問 国は、部活動指導員確保を1校あたり3人まで支援するとしている。しかし、今年に關しては、1人も確保出来ていないのが現状。今後、指導員、指導者の人材確保はできるのか。

問 指導者の育成は、新たな資源となる。資格、研修費用の支援を。

問 人づくり事業の対象を、村内の中学生と高校生への見直しを。

村長 教育委員会関係の指導者育成、住民の健康維持増進という事も含めて協議していく。

村長 制定当時と社会経済情勢が大分変わってきている。令和5年度に見直しをする。

農業後継



宮坂 早苗 議員

問 補助金対象の拡大を

答 後継者確保に取り組む

問 農業後継者育成補助金の対象は、認定農業者の後継者として経営を行う50歳以下の者への補助金。現状は、兄弟夫婦で農業に従事する住民が多い。後継者の確保ができていない農家は、414戸のうち102戸と少ない。補助対象を拡大しては。

農林課長 後継者不足は大きな問題。国では、年齢要件55歳、早期退職、新規就農、親元就農の可能性などがあり、ますます必要になる。併せて検討していく。

道路

問 村中心部の道路網整備は

答 利用状況を検証したい

問 村中心部に集めた公共施設の安全利用のため、歩道等の新設が図書館側と保育園側に必要と思うが。

建設水道課長 教員住宅の跡地に子育て支援センターが出来て道路の利用が進むので、道路の拡幅や歩道設置等の検証しながら安全確保を検討したい。

慮しながら歩道設置を含めて検討したい。

問 村中心部と中央高原人口信号機を結ぶ道路の新設を計画したらどうか。

建設水道課長 道路新設を考えると、家屋の移転とか橋梁建設等大きな予算が伴う、都市計画を行っている村では、現在のところ実現が困難。

コロナ

問 コロナ4回目接種の実施時期は。また、実施にあたっての体制整備は進んでいるか。

保健福祉課長 3回目接種後5ヶ月以上経過者で、60歳以上の方で重症化予防のため、18歳から60歳未満で基礎疾患のある方を対象に7月から行う。接種の方法は、前回と同様に、集団接種と医療機関接種で行う。円滑に実施したい。詳しい日程が決まり次第該当者に連絡する。



百瀬 嘉徳 議員

問 4回目ワクチン接種は

答 7月から住民接種を予定

もみの湯

問 改装の具体的内容

答 R6年度全面改修予定

問 現状と今後の予定。30年が経過している。今後も健全に使用できるように維持管理を行い長寿命化計画を図る。

商工観光課長 建築後躯体、内装等すべて調査し実施する。

度を勘案し改修計画を検討。費用面もじっくり考えたい。

問 改装への期待も多いが今後の展望は。

村長 コロナ禍で観光

客は最盛期の半分以下で今後も続くと考え。観光シーズンの蓄えがなくなり収益構造が大きく変化。村民の皆さんに継続して利用してもらいながらの採算性の確保が緊急の課題。

問 老朽化、清潔さ、サービス、料金といった問題点の解決は。

商工観光課長 サービス、料金について検討していく必要がある。

村長 来年度の調査結果を見て重要度、緊急

環境保護



佐宗 利江 議員

問 人口増へ環境変化の対策は

答 移住交流事業の見直し

問 人口の増加に伴い森林伐採が進んでいる。

農林課長 エコライオン上は30%の伐採を認め、それ以上は切った分植えてもらう。

問 もっと多くの木が切られ住宅地のように。

建設水道課長 条例の見直しを考えていかなければいけない。

村長 全庁的に悩んでいる。移住交流事業のリミットの見極めを考える時期に来た。

みなさんの
の

声を聴かせてください

「住民に開かれた議会」をめざし、「広聴」の機会づくりに努めます。



時田 聖矢 さん (菖蒲沢)

私は原村で育ち、毎日生き生きと生活できているこの環境に感謝しています。しかし、最近は新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止となり地区や村内の交流が減り、若い人達や子ども達の交流ができていないと感じています。

そこで、まず自分の住んでいる菖蒲沢区で若い人達の交流の場や子ども達が安心して遊べる企画をしたいです。それにより、若い人は住みやすく、子ども達にはたくさんの思い出を作ってもらい、一緒に楽しみながら原村を好きになってもらいたいです。今後も住み続けたい・帰ってきたい原村になるよう、活動をしていきたいと思います。

議会だよりモニターを募集します

住民の皆様から意見や感想など幅広くお聴きし、開かれた議会、手に取ってもらえる議会だよりを目指し、「議会だよりモニター」を募集します。

住民の皆様のご理解により「議会だより」は昭和60年4月創刊以来、今号で150号を迎えます。ありがとうございます。

■モニターの仕事

- ・議会だよりについて意見を述べる
- ・アンケート調査に協力
- ・モニター連絡会議に出席

■資格

村内にお住まいの

中学生以上の方

■人数

15人以内

■任期

2年

■締切

令和4年9月20日(火)

詳しくは議会ホームページまたは

事務局までお問い合わせください。



議会の傍聴にお出かけください

次の定例会は

8月26日(金)

開会予定です

- ・役場2階総務課前で受付後、傍聴席にお越しください。
- ・会期中は委員会の傍聴もできます。

【問い合わせ】

議会事務局 ☎0266-79-7951

委員 委員 委員 副委員長 委員
平出 松山 森山 百瀬 宮坂
敏廣 浩史 岩光 嘉徳 早苗

議会広報・広聴特別委員会

最短の梅雨期間を記録し梅雨明けとなり、猛暑日の連続で、隣地区の区長さんから「堤の水が心配で朝夕の水量管理に行っている。」と伺った。戻り梅雨で水不足も解消したのではと感じるが、寒暖の差が今後の農作物にどんな影響が出るのかも案ずるところである。冬場の原油価格高騰以来、農業資材、飼料、肥料の値上げについて、農業者さんからは、資材等の購入品の値上がり分を販売価格には反映できないため、支援体制を考えて欲しいとの声がある。生活面においても食料品、乳製品、小麦粉関連商品等も続いて値上がりし食卓に出すおかずを減らすなど大変だとの声もある。コロナ感染は「第7波」の急拡大となり、政府もワクチン接種対象者を当初計画より拡大すると発表した。当村も第4回目接種が開始されている。(平出記)

編集後記